なっとくんの

山口県立山口博物館　学校地域連携担当

2017年　8月　3日　No.186

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

およそ3千万年前から生きぬいたミツガシワ

出前授業で訪れた山口市立宮野小学校は、長年ホタルの飼育に取り組まれておられ「きらるん」というキャラクターもつくられています。その学校の近くに「宮野のミツガシワ自生地」の看板があります。法明院裏の池に自生し、山口市指定天然記念物になっています。ミツガシワは、ミツガシワ科に属する多年草で湿地などに生えています。4月の中旬に小さな白い花を咲かせます。4月に訪れた際は、花弁の細かい毛も観察することが出来ました。ミツガシワは、漸新世（約3700～2400万年前）の地層から種子の化石が発見されており、県内のミツガシワは、山口県の絶滅危惧ⅠA類に指定されています。

宮野小学校 蛍のキャラクター　きらるん

法明院裏のミツガシワ

宮野小学校から県庁に向かう国道9号線の北側に、第18代内閣総理大臣寺内正毅(1852~1919)のお墓があります。山口市平井で長州藩士宇多田家に生まれ、後に寺内家の養子となりました。御楯隊の隊士となり14歳の時に幕長戦争、16歳で戊辰戦争、さらに西郷隆盛が挙兵した西南戦争にも出陣しています。明治政府においては、陸軍に関わる仕事に携わり、陸軍大臣にも任じられています。1910年に朝鮮総督府が設置されると、初代朝鮮総督になりました。1916年、大隈重信内閣の総辞職後、寺内を総理とする内閣が発足しました。海外ではシベリア出兵、国内では米騒動と多事多難の時期でした。米騒動が全国に広がる中で、その責任を取る形で総理大臣を辞任しました。在職中すでに病気であった寺内は、辞任後約1年で亡くなっています。宮野に朝鮮関係などの書籍を集めた「桜圃寺内文庫」（現在山口県立大学蔵）の基礎を作りました。

参考文献『池上彰と学ぶ日本の総理』小学館

寺内正毅肖像写真

誕生地記念碑（山口市平井）

寺内正毅墓所（山口市宮野）

山口博物館の植物展示室では、ミツガシワの標本展示を行っています。県内の植物展示と合わせてご覧ください。